

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2016年第15週
(4月11日～4月17日)

- * 2016年4月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「エボラ出血熱(エボラウイルス病)のワクチン開発」も掲載しています。

平成28(2016)年4月21日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

定点把握対象疾患 報告数 2016年15週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		12週	13週	14週	15週		
小児科	RSウイルス感染症	25 0.10	13 0.05	17 0.07	34 0.13	257	264
	咽頭結膜熱	31 0.12	37 0.14	55 0.21	40 0.16		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	589 2.26	508 1.95	516 1.98	722 2.81		
	感染性胃腸炎	1,303 4.99	1,337 5.12	1,259 4.84	1,527 5.94		
	水痘	86 0.33	92 0.35	108 0.42	68 0.26		
	手足口病	18 0.07	6 0.02	9 0.03	8 0.03		
	伝染性紅斑	35 0.13	29 0.11	53 0.20	56 0.22		
	突発性発しん	91 0.35	107 0.41	118 0.45	131 0.51		
	百日咳		5 0.02	2 0.01	2 0.01		
	ヘルパンギーナ	4 0.02	1 0.00	2 0.01	4 0.02		
	流行性耳下腺炎	111 0.43	115 0.44	112 0.43	108 0.42		
	川崎病 *1	1 0.00	3 0.01	2 0.01	3 0.01		
	不明発しん症 *1	5 0.02	15 0.06	10 0.04	13 0.05		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	3,860 9.30	3,091 7.45	2,028 4.90		
眼科	急性出血性結膜炎	2 0.05				39	39
	流行性角結膜炎	14 0.36	14 0.36	26 0.67	17 0.44		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1 0.04	1 0.04	3 0.12	2 0.08	24	25
	無菌性髄膜炎			1 0.04	1 0.04		
	マイコプラズマ肺炎	5 0.20	10 0.40	5 0.20	8 0.33		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			1 0.04			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	5 0.20	1 0.04	5 0.20	12 0.50		
	インフルエンザ入院	22 0.88	8 0.32	12 0.48	6 0.25		
						2016/4/20集計	

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、13週より流行警報基準を下回り、15週はさらに減少している。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2016年15週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	1			17	1			4			
6～11か月	14	2	3	128	3			43			2
1歳	12	10	19	212	3	3	5	66		1	3
2歳	6	9	46	147	1	2	5	12		1	7
3歳	1	6	73	166	7	1	10	3			5
4歳		6	96	130	12		8	2			13
5歳		2	84	114	9		4				13
6歳		1	104	73	7		8			1	11
7歳		1	90	75	7	1	4	1			10
8歳			65	75	10		6			1	19
9歳			29	44	2		2				6
10～14歳		2	68	122	4	1	3		1		17
15～19歳			7	21			1				
20～29歳		1	38	203	2				1		2
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	34	40	722	1,527	68	8	56	131	2	4	108
先週比	17	-15	206	268	-40	-1	3	13		2	-4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1		4			1				1	
6～11か月			18				1			1	
1歳	1	5	51					1			
2歳		2	72							4	1
3歳			77		1			3			
4歳			96					1		2	
5歳	1	3	86							1	1
6歳			127					1		2	
7歳		1	109							1	
8歳			94								
9歳		1	35		1						
10～14歳		1	165		1			2			
15～19歳			80		1						
20～29歳			86		1						
30～39歳			120		4						
40～49歳			119		7						
50～59歳			73		1						
60～69歳			30								
70～79歳			17			1					1
80歳以上			10								3
合計	3	13	1,469		17	2	1	8		12	6
先週比	1	3	-559		-9	-1		3	-1	7	-6

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2016年15週

	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	1.00		0.67	0.33	0.33	0.33					
中央区			2.00	10.50				1.00			
みなと	1.00	0.17	3.00	8.17	0.33		0.33	0.33	0.17		0.50
新宿区			2.63	6.25			0.13	0.25			
文京			0.67	3.67				0.33			0.67
台東			3.50	6.00		0.25	0.25	0.25			0.50
墨田区	0.60	0.80	3.00	2.80	0.80		0.20	0.40			0.20
江東区	0.33	0.11	2.22	8.11	0.33	0.11	0.33	0.56			1.11
品川区	0.13		1.13	5.63	0.38			0.50		0.13	0.25
目黒区	0.20	0.40	3.80	6.20	0.20	0.20		0.40			
大田区	0.46	0.23	2.69	7.85	0.46		0.54	0.46			0.38
世田谷	0.31	0.19	4.25	5.56	0.13	0.06	0.19	0.50		0.06	0.19
渋谷区			0.25	2.75				0.50			
中野区			4.00	11.17			0.17	0.50			
杉並			2.78	4.78			0.44	0.22			
池袋			1.50	2.75							
北区		0.14	1.71	4.00			0.29	0.43			0.14
荒川区	0.25	0.25	6.25	4.00				0.50			0.50
板橋区			0.60	4.00	0.30	0.10	0.10	0.40		0.20	0.20
練馬区			2.54	5.85	0.62		0.08	0.92			0.31
足立	0.23	0.08	3.77	5.38			0.08	0.69			0.92
葛飾区			3.00	9.63	0.75		0.63	0.38			0.50
江戸川		0.17	2.83	6.17	0.08		0.25	0.50			0.75
八王子市		0.09	3.00	9.91	0.18	0.09	0.64	0.45	0.09		0.91
町田市		0.13	4.25	10.75	0.50			0.75			0.50
西多摩		0.25	0.88	3.75	0.13		0.25	0.13			0.50
南多摩	0.11	0.11	3.56	5.78	1.11			0.33			0.22
多摩立川			3.50	4.00	0.21		0.21	0.71			0.50
多摩府中	0.05	0.21	1.37	5.11	0.26	0.05	0.16	0.74			0.47
多摩小平		0.80	4.73	4.93	0.20		0.33	0.73			0.67
島しょ			4.00								
東京都	0.13	0.16	2.81	5.94	0.26	0.03	0.22	0.51	0.01	0.02	0.42

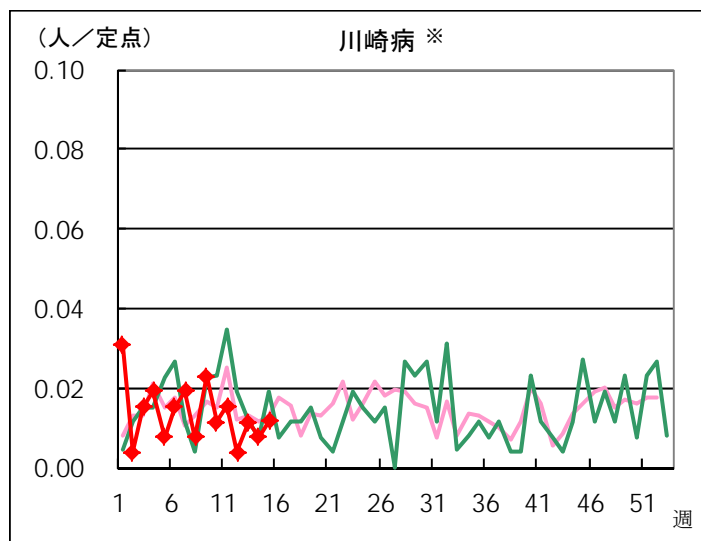
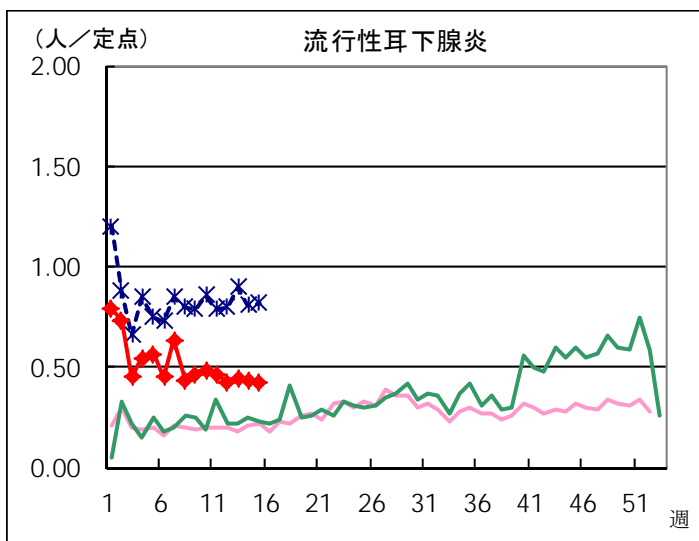
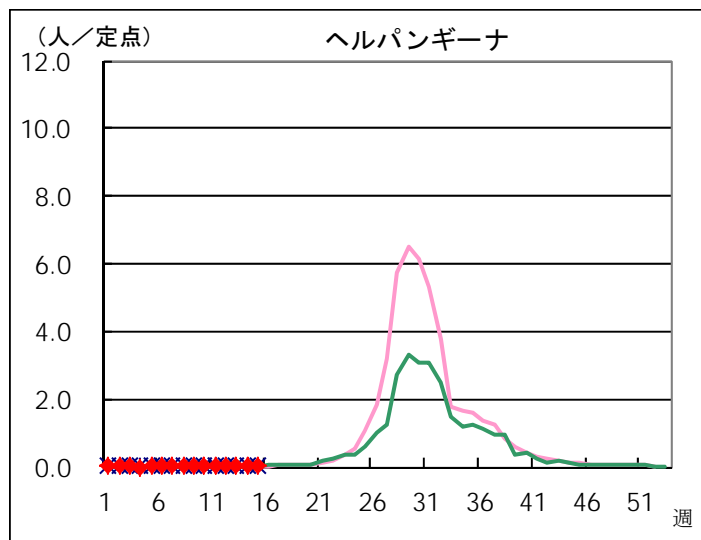
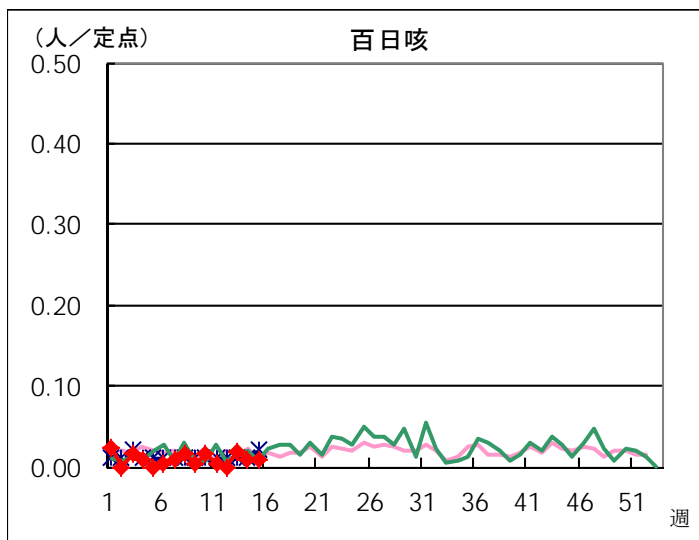
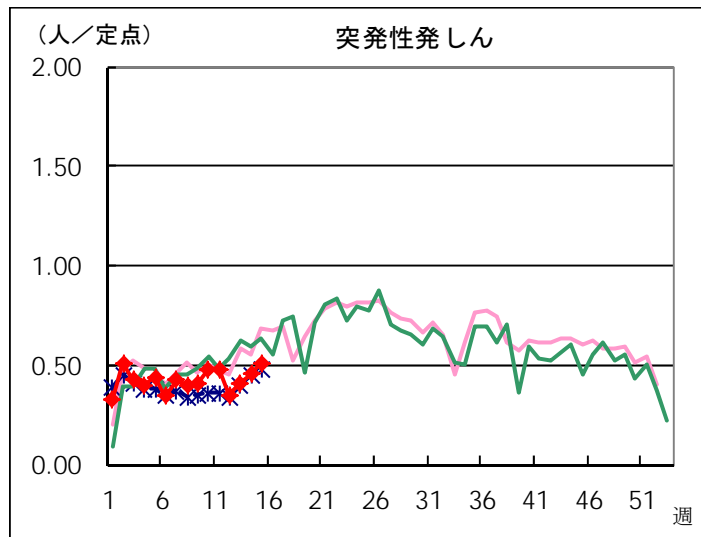
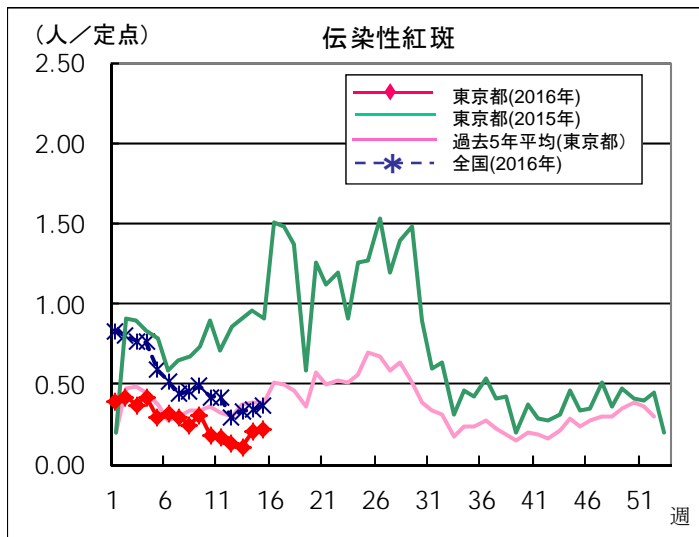
	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		0.33	4.75					1.00		1.00	
中央区			2.50								
みなと			3.56								1.00
新宿区			2.75					0.50		0.50	
文京			2.33		1.00						1.00
台東			2.57								
墨田区			1.75			1.00					
江東区		0.11	3.00								
品川区			1.83		1.00						
目黒区			2.25								
大田区		0.15	3.10								
世田谷		0.06	4.20		0.50						1.00
渋谷区			2.86					1.00		1.00	
中野区			4.20		1.00						
杉並			3.07								
池袋			3.14								
北区			1.64		1.00						
荒川区	0.25		10.14		2.00						
板橋区		0.10	2.19								
練馬区	0.08		3.14		1.00						
足立			3.05								
葛飾区			4.08		1.00			1.00		5.00	1.00
江戸川			2.47		1.00						
八王子市	0.09	0.18	6.72					2.00			1.00
町田市			4.23								
西多摩			2.36								
南多摩			3.29		3.00						
多摩立川		0.07	2.52							1.00	
多摩府中		0.21	4.68		0.33	0.50	0.50	0.50		1.00	
多摩小平			5.91		0.50						
島しょ			5.00								

東京都	0.01	0.05	3.57		0.44	0.08	0.04	0.33		0.50	0.25
-----	------	------	------	--	------	------	------	------	--	------	------

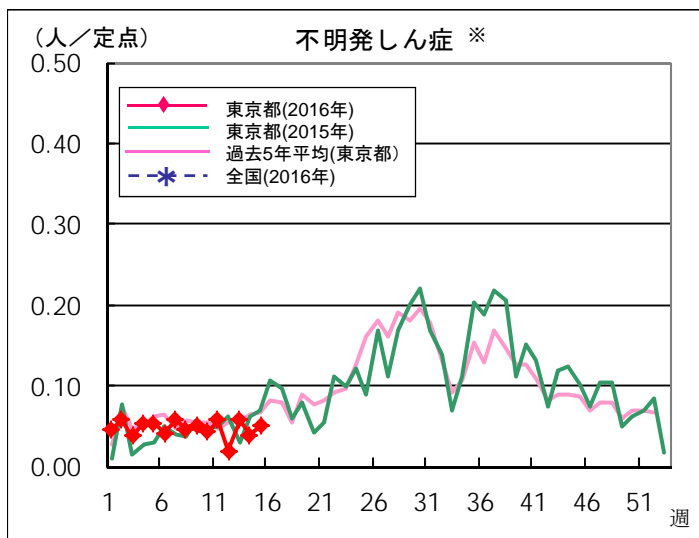
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2016年15週

	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	3		2	1	1	1					
中央区			4	21				2			
みなと	6	1	18	49	2		2	2	1		3
新宿区			21	50			1	2			
文京			2	11				1			2
台東			14	24		1	1	1			2
墨田区	3	4	15	14	4		1	2			1
江東区	3	1	20	73	3	1	3	5			10
品川区	1		9	45	3			4		1	2
目黒区	1	2	19	31	1	1		2			
大田区	6	3	35	102	6		7	6			5
世田谷	5	3	68	89	2	1	3	8		1	3
渋谷区			1	11				2			
中野区			24	67			1	3			
杉並			25	43			4	2			
池袋			6	11							
北区		1	12	28			2	3			1
荒川区	1	1	25	16				2			2
板橋区			6	40	3	1	1	4		2	2
練馬区			33	76	8		1	12			4
足立	3	1	49	70			1	9			12
葛飾区			24	77	6		5	3			4
江戸川		2	34	74	1		3	6			9
八王子市		1	33	109	2	1	7	5	1		10
町田市		1	34	86	4			6			4
西多摩		2	7	30	1		2	1			4
南多摩	1	1	32	52	10			3			2
多摩立川			49	56	3		3	10			7
多摩府中	1	4	26	97	5	1	3	14			9
多摩小平		12	71	74	3		5	11			10
島しょ			4								
東京都合計	34	40	722	1,527	68	8	56	131	2	4	108

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		1	19					2		2	
中央区			10								
みなと			32								1
新宿区			33					1		1	
文京			14		1						1
台東			18								
墨田区			14			1					
江東区		1	42								
品川区			22		1						
目黒区			18								
大田区		2	62								
世田谷		1	105		1						2
渋谷区			20					1		1	
中野区			42		1						
杉並			46								
池袋			22								
北区			18		1						
荒川区	1		71		2						
板橋区		1	35								
練馬区	1		66		2						
足立			61								
葛飾区			53		1			1		5	1
江戸川			47		2						
八王子市	1	2	121					2			1
町田市			55								
西多摩			33								
南多摩			46		3						
多摩立川		1	53							1	
多摩府中		4	145		1	1	1	1		2	
多摩小平			136		1						
島しょ			10								
東京都合計	3	13	1,469		17	2	1	8		12	6

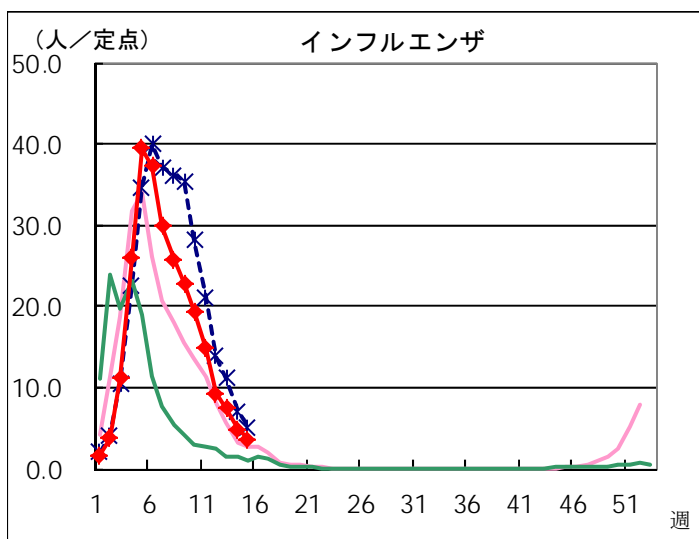


※ 東京都独自対象疾患

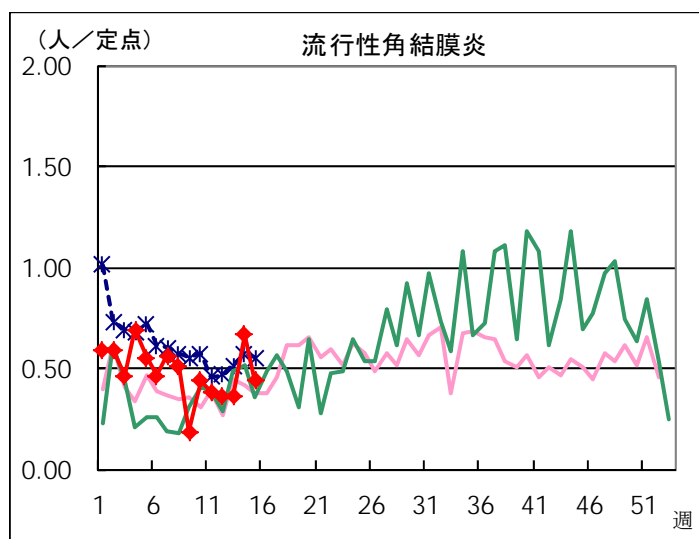
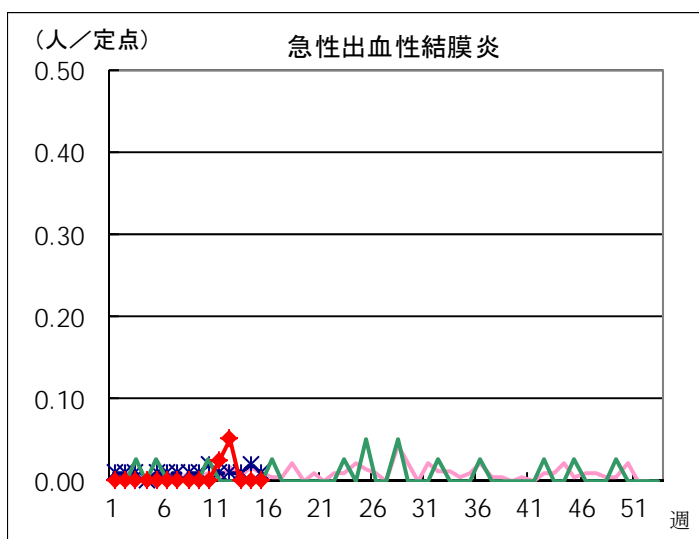


※ 東京都独自対象疾患

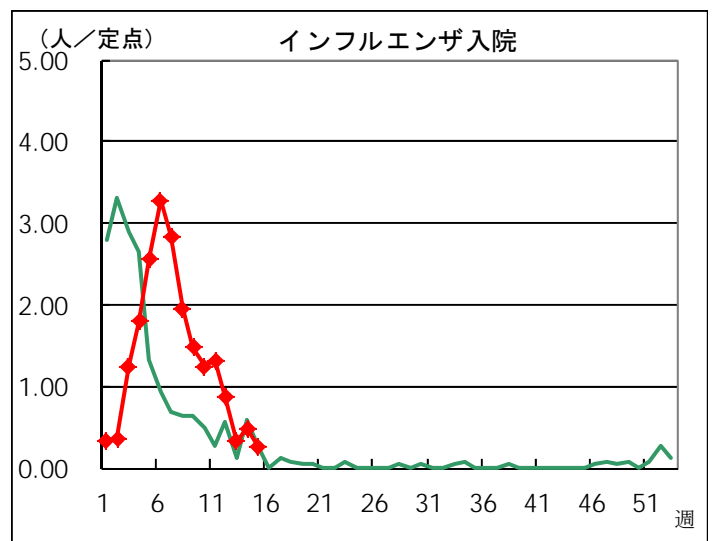
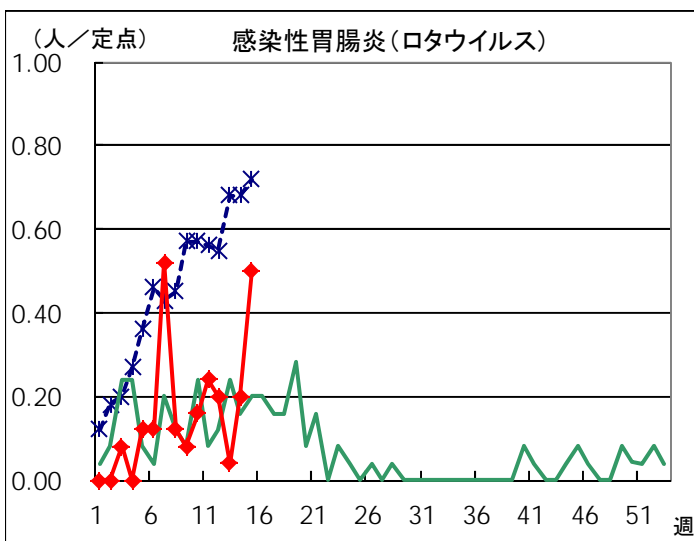
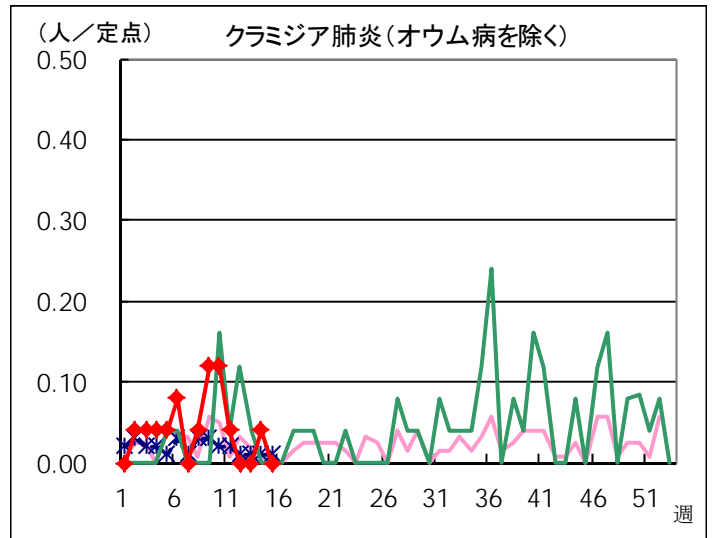
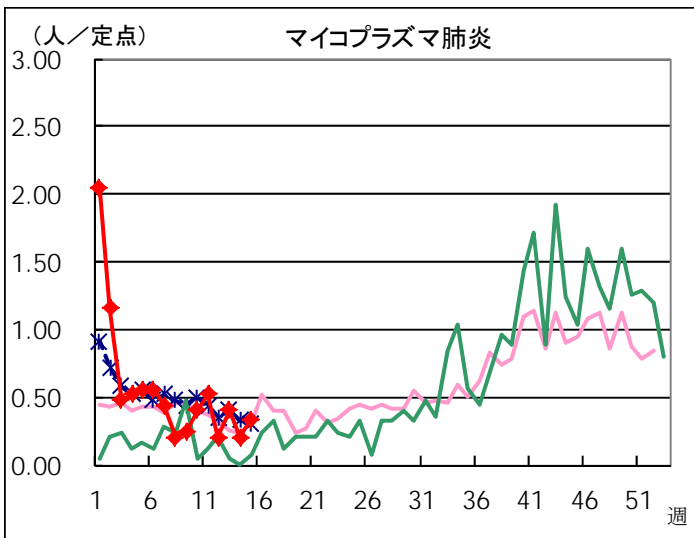
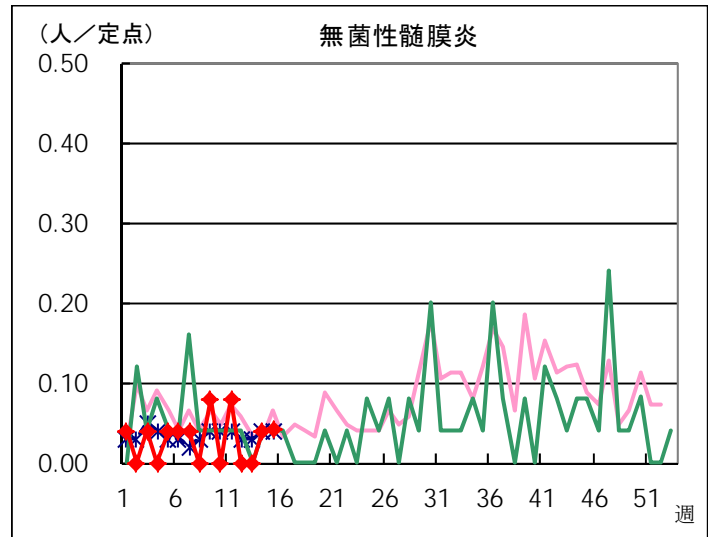
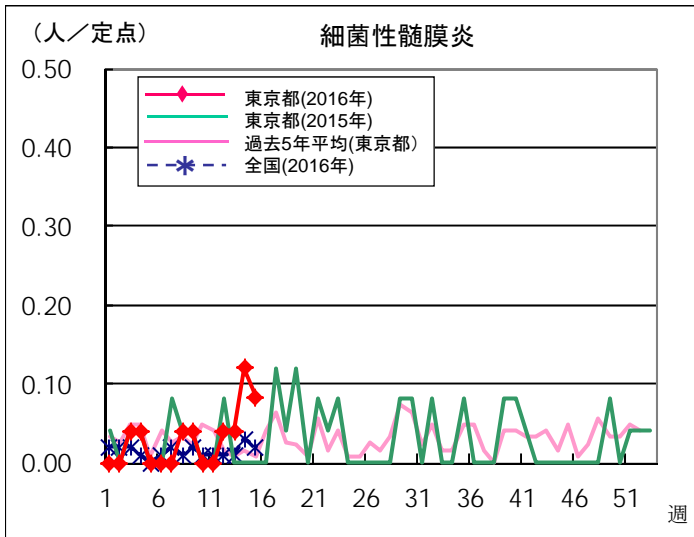
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
3/28	インフルエンザ疑い	2	咽頭拭い液	ライノウイルス
3/18	川崎病	3	咽頭拭い液	アデノウイルス
3/28	インフルエンザ疑い	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルス AH1pdm09* ライノウイルス
3/24	流行性耳下腺炎	9	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
3/18	流行性角結膜炎	38	結膜拭い液	アデノウイルス

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2016年13週	5			8
2015-2016年 シーズン累計*	150		24	120

* 2015-2016年シーズンの開始は第36週(2015年8月31日～)

<感染症豆知識>

エボラ出血熱（エボラウイルス病）のワクチン開発

エボラウイルスに対するワクチン開発はウイルスの発見以来、長年にわたり世界各国で遺伝子組み換え技術などを用いて進められてきたが、いずれもサル等の動物実験の段階であった。しかし昨年が始まった西アフリカにおけるエボラ出血熱（エボラウイルス病）の流行を受けて、その開発が急務となり、ヒトを対象とした臨床試験が急速に進められている。

ヒトに症状を起こすエボラウイルスは現在数種類確認されている。今回の西アフリカで流行を起こしたウイルスはザイルエボラウイルス (ZEBOV) と呼ばれるものである。このウイルスに対するワクチンの臨床試験の中間報告が昨年ランセット誌に掲載され、世界の注目を浴びている。カナダ、ノルウェー、ギニア等数か国政府、国境なき医師団、WHO、メルク社等による共同研究チームがギニアで約 7600 人を対象に実施したものである。

この臨床試験では通常のワクチン開発時の臨床試験のやり方と異なり、かつて天然痘対策で使われた「ring vaccination」という接種方式が採用された。患者との接触者全員に接種し、感染防御効果を見るものである。患者との接触後直ちに接種するグループと、接触から 3 週間後に接種するグループに分けて行われた。結果としていずれのグループにおいても高い感染防御効果が見られ、重篤な副反応も認められなかった。引き続きワクチンの効果の持続性などに関する研究が必要であるが、WHO ではこのワクチンに大きな期待を寄せている。

この他にもヒトに対する臨床試験段階に入っているワクチンがいくつかある。昨年末には西アフリカ 3 か国の流行終息宣言が出されたが、今年 1 月に入り再びシエラレオネで患者発生が報告されている。流行の再発防止のためにもこれらのワクチンの早急な実用化が待たれる。

（文責 東京女子医科大学国際環境・熱帯医学教室主任教授 遠藤弘良）